

2026年3月期 決算

補足説明資料

株式会社クレオ

東証スタンダード | 9698

2026年5月8日



- 売上高は、ソリューションサービス事業を中心に堅調に推移し、増収が継続
- 営業利益においても売上高と同じく、ソリューションサービス事業の伸長により、増益

売上高

14,569
百万円

前期比 **+0.3%**

営業利益

1,194
百万円

前期比 **+5.7%**

当期純利益

807
百万円

前期比 **+15.9%**

ソリューションサービス

■ 売上高

5,342百万円

前期比 **+5.6%**

■ セグメント利益

1,019百万円

前期比 **+12.8%**

受託開発

■ 売上高

2,786百万円

前期比 **△8.3%**

■ セグメント利益

553百万円

前期比 **△0.6%**

システム運用・サービス

■ 売上高

2,165百万円

前期比 **+6.5%**

■ 営業利益

309百万円

前期比 **△0.1%**

サポートサービス

■ 売上高

4,275百万円

前期比 **△2.6%**

■ 営業利益

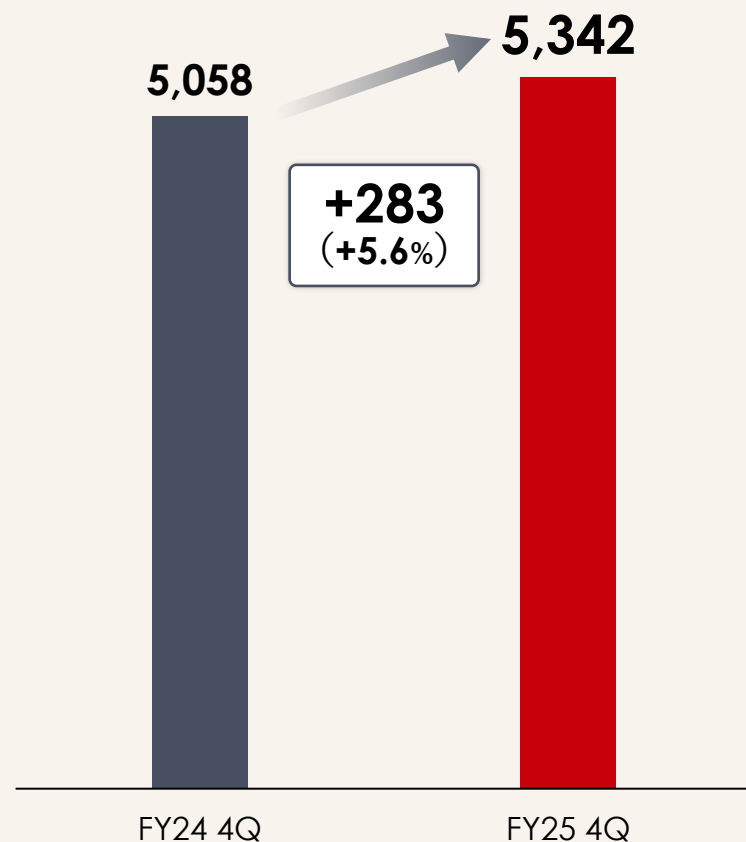
275百万円

前期比 **△14.0%**

- ソリューションサービス事業はストックサービス等の安定的な伸長により、増収および増益を達成

■ 売上高

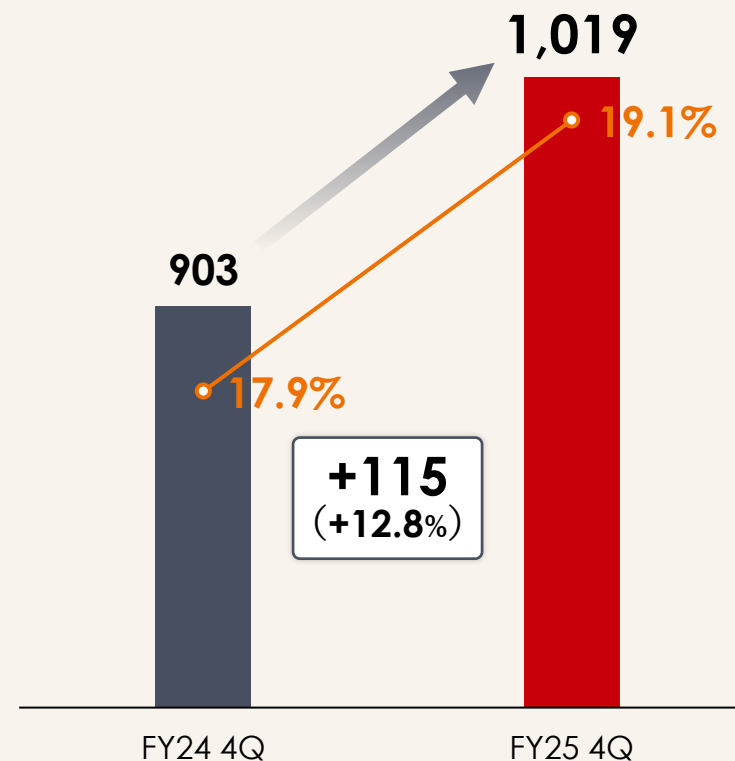
(百万円)



■ セグメント利益

(百万円)

■ セグメント利益 —○— 利益率



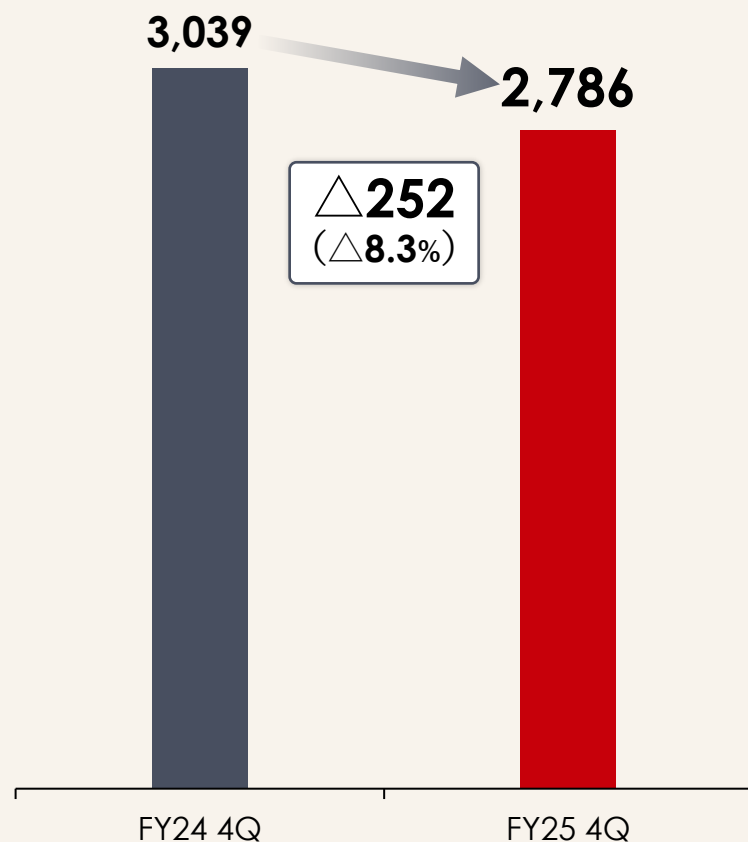
要因

- 主力のZeeM人事給与や周辺製品におけるストックサービスが堅調に推移し、収益基盤が拡大
- 顧客向けのソリューション開発についても堅調な伸びを維持

- 受託開発事業は戦略的な開発体制のシフトおよび前期大型案件の影響により、減収

■ 売上高

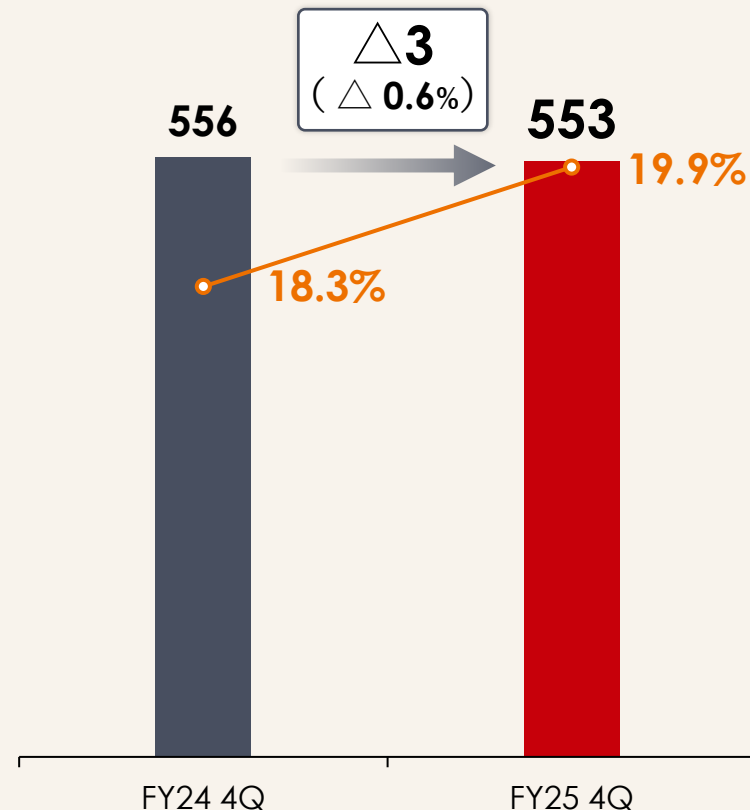
(百万円)



■ セグメント利益

(百万円)

■ セグメント利益 ○ 利益率



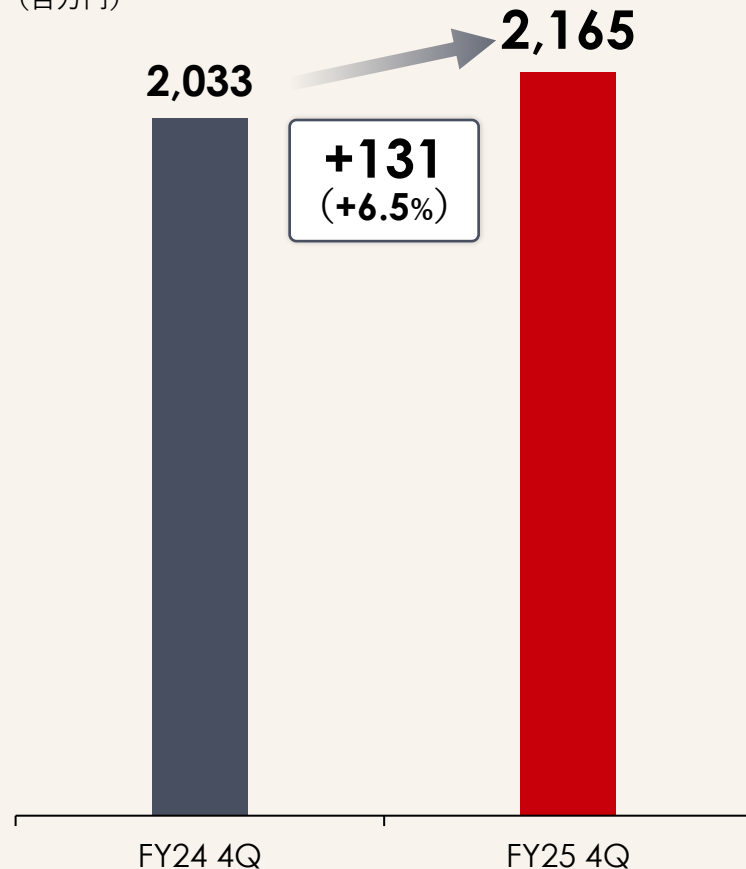
要因

- 売上高の減少は大型プロジェクトの終了による影響で減収
- 前期の戦略的受注案件の終了に伴い全体の利益率が改善し、収益性は向上

- システム運用・サービス事業は主要顧客との関係性強化および取引規模の拡大により、増収

■ 売上高

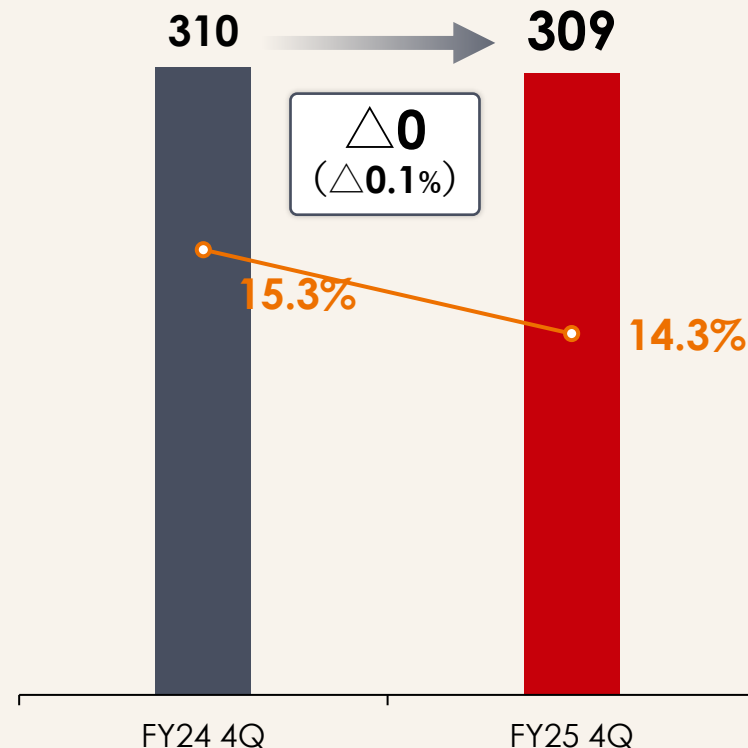
(百万円)



■ 営業利益

(百万円)

■ 営業利益 ○ 利益率



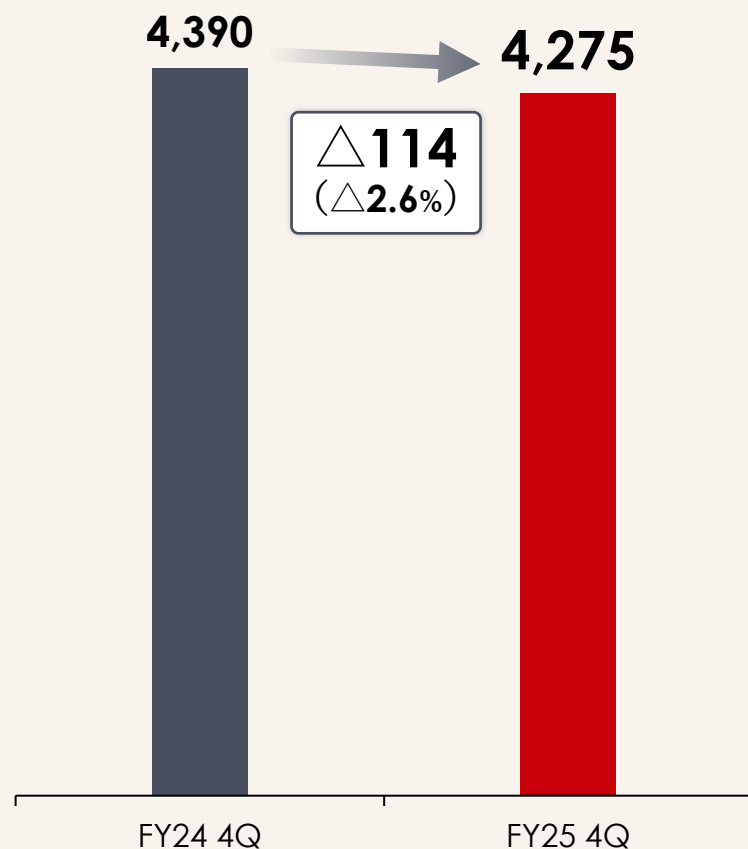
要因

- LINEやフーグループをはじめとする主要顧客からの受注が引き続き堅調に推移
- 取引単価の改善や参画プロジェクトの増員が寄与し、着実な成長を維持
- 拠点の移転費用等の影響があったものの、経費削減や新規案件の獲得により補完

- サポートサービス事業は主要顧客の動向および大型案件終了の影響を受け、減収減益

■ 売上高

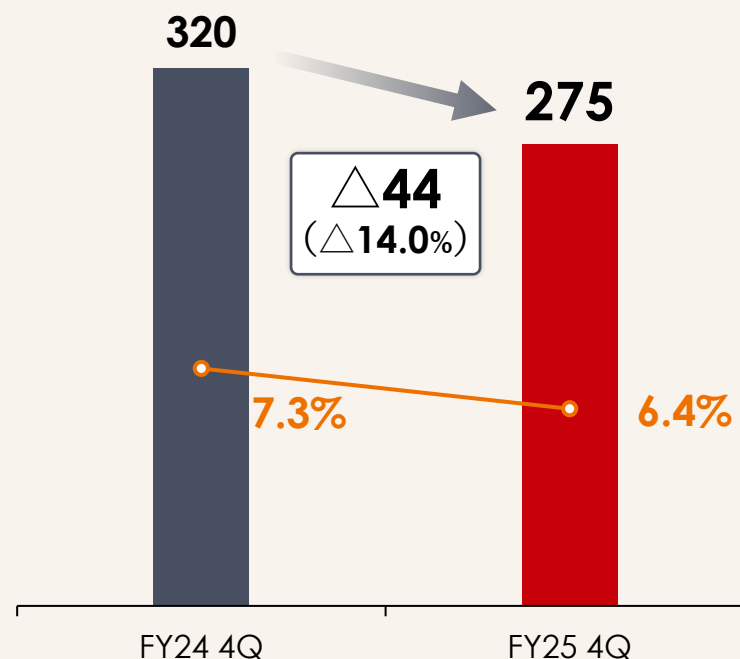
(百万円)



■ 営業利益

(百万円)

■ 営業利益 ○ 利益率



要因

- ・ 主要顧客の組織統合に伴う業務の内製化や、既存の大型サポートプロジェクトの終了が売上・利益に影響

連結業績（セグメント別）

		2025年3月期実績	2026年3月期実績	前期比	
		通期	通期	増減額	増減率
ソリューションサービス	売上高	5,058	5,342	+283	+5.6%
	営業利益	903	1,019	+115	+12.8%
受託開発	売上高	3,039	2,786	△252	△8.3%
	営業利益	556	553	△3	△0.6%
システム運用・サービス	売上高	2,033	2,165	+131	+6.5%
	営業利益	310	309	△0	△0.1%
サポートサービス	売上高	4,390	4,275	△114	△2.6%
	営業利益	320	275	△44	△14.0%
全社費用等	売上高	-	-	-	-
	営業利益	△960	△963	△2	-
連結合計	売上高	14,521	14,569	+47	+0.3%
	営業利益	1,130	1,194	+64	+5.7%

※ 連結子会社が運営する「システム運用・サービス事業」「サポートサービス事業」以外の2事業については、営業利益の算出にあたり、本社経費等の配賦を行っておりません。

- 2026年3月期の年間配当は、当初計画52円から+3円増配し55円。9期連続増配となります。

2026年3月期

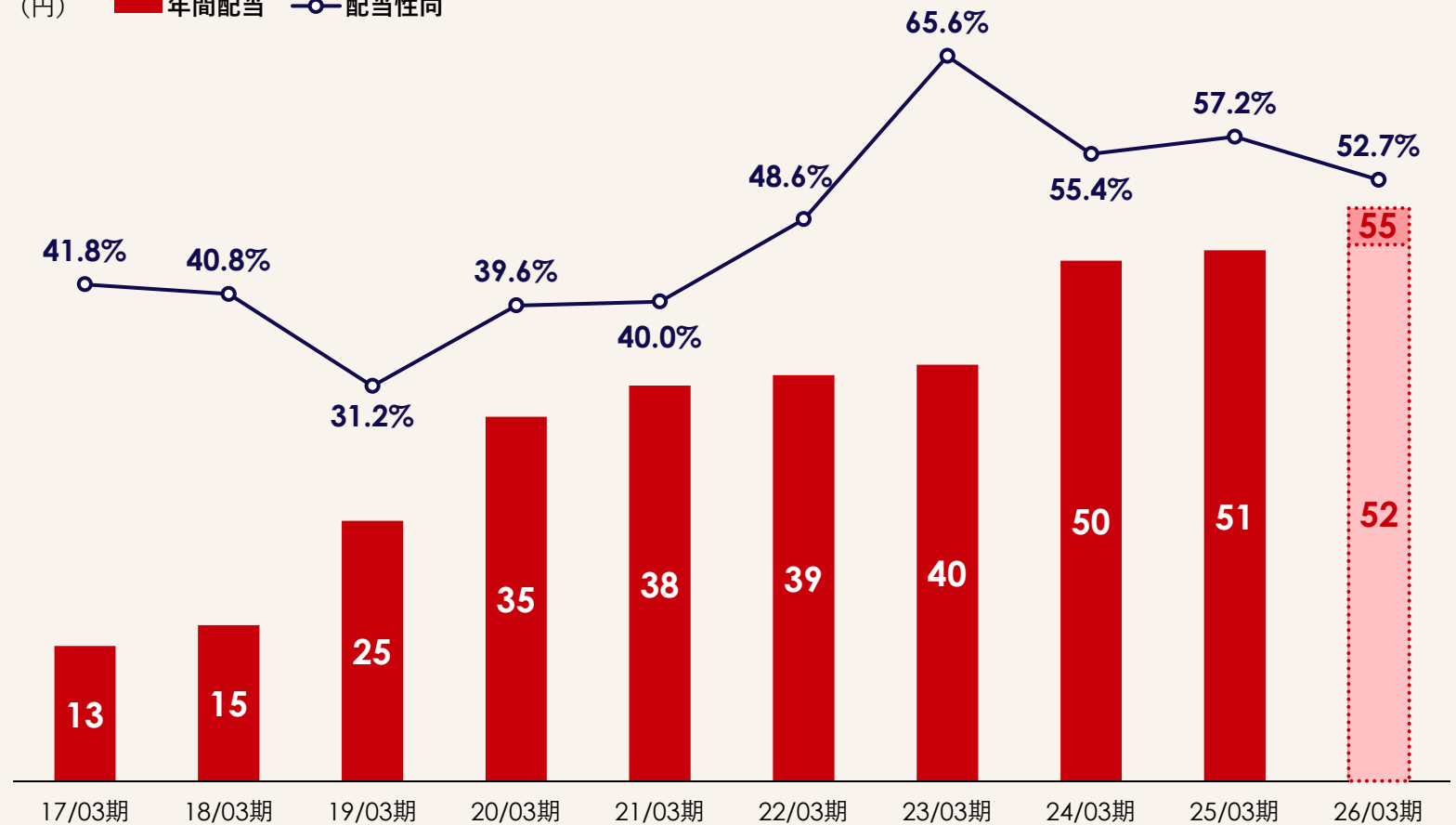
1株あたり配当金

55円

計画比 + **3円**増額

1株あたり配当金と配当性向

(円) ■ 年間配当 ○ 配当性向





本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようお願いいたします。
